

ひなたぼっこ

第4号



CONTENTS

- 1p~2p 特集 ふくやま病院を訪問しました
- 3p~4p お店の紹介
- 5p グリーンスローモビリティ
- 6p CAMPFIREのクラウドファンディングで上級資金を集めました。
- 7p 明石で輝くキラリさん!

☆☆明石で輝くキラリさん!☆☆

キラリさんその①

株式会社ソワサポート
代表 浅原奈緒子さん



①ソワサポートを立ち上げた経緯は？
22年ほど前、播磨町で就学前の子と私たちを対象に「モンテッソーリ」の活動を始めました。当初は2歳からいから6歳までの子どもが活動する場でしたが、活動を続けていくうちに、ダウン症のある子や「ミニゲーム」が苦手だったり学校での学習が難しい子たちが放課後や休日に学校での勉強を手伝ったり個別で関わりを持つ時間を作ることになりました。それがソワサポート・モンテッソーリ療育の始まりだったと思います。

そして、2012年にNPO法人播磨発達サポートネットSOWERを設立し児童発達支援と放課後等デイサービスを開所しました。その後、2013年に株式会社ソワサポートを設立、2014年に相談支援事業所が加わりました。2020年には、就労継続支援B型事業所を開所予定です。

②ソワサポートが大切にしていること
「SOWER」には、種をまく人という意味があります。「収穫に立ち会えないかもしれないが出来るだけ多くの種を蒔く」これは、ナカムラミツルさんの作品集の題名です。そして、旧ソ連の元大統領ゴルバチョフさんが言われたとされている言葉です。

私たちは、子どもたちがありのままでいることができ、穏やかな気持ちで過ごせる居場所を

つくり子どもたちが持っている皆さんの可能性を「すず」丁寧に育てていきたいという思いで社名を「ソワサポート」としました。

③今、力を入れていることは？
就労です！来年度、就労継続支援B型事業所「sizee」(シズル)を開所予定です。「その人がやりたい仕事をするその人の得意なことが生かせる仕事を作る」ことが、私たちの目標に加わりました。

事業所名の「sizee」(シズル)は、もともと広告クリエイターさんたちが使い始めた言葉で、ものの本質的な魅力「らしい」ことを大切にすることという意味です。

就労で、またまたAーにはできない「人の本質的な魅力」を使ったお仕事を考えてみました。

④気の合う仲間とおしゃべりができるbar & cafe
⑤お手頃価格で宅配してくれて、気持ちがホットするお弁当屋さん
⑥人によってもたらした方が綺麗に仕上がって、気持ちも元気になるネイルサロン
⑦「ネット社会を味方に、人の本質的な魅力を武器に働く」を合言葉に通販事業を展開。世界はどんな変わっていくそのスピードに負けないように、私たちも変わっていきたいと思います。



■モンテッソーリ療育の様子

キラリさんその②

チームW・研修センター
代表 楠瀬 樹宜さん



①チームW研修センターを立ち上げた経緯は？
7~8年ほど前に、はじめて文字通訳に出会いました。

「話されている言葉が、そのまま文字になってスクリーンに出てくる」聴覚障害のある方への配慮だと知りました。ヘレン・ケラーのことは、強烈な印象として脳裏にあります。すぐそばに聞こえて困っている人がいることを、意識していなかった。また普通学級に通う聴覚障害のある児童がづらい気持ちでいること、自身の辛かったときの記憶とが重なり、胸が苦しくなりました。これが原点。

支援できるメンバーを集め、通訳拠点を開設しました。

②主な活動内容をお聞かせください。
聴覚障害児者を対象に、授業中の文字支援を行っています。入学式などの式典・運動会や発表会、地域で行われる研修会などに、文字支援を行っています。

また私たちは、文字通訳者が現場に入ることなく、各自宅から支援できる遠隔システムのメリットを最大限に活かして行っています。

聞こえに関する啓発ワークを取り入れながら、月に1回、ウイズあかしのフリースペー

スを利用して、地域の方との交流も大切にしています。

③今、力を入れている活動は？
この9月に、ベンチャーズを基本としてライブ活動を行っている、ギターリストTOMOKOさんとの出会いがありました。文字支援がいつもある「声が見えるライブ」が実現しました。この数週間、すでに北海道新得町、博多、熊本、神戸で実施。私たちに、移動せずとも役割を果たすことのできる遠隔システムがあるからです。

授業や研修会だけににとまらず、場を限定する「となく、条件をつけなく」となく、音声のあるところ、文字がある活動に力を注いでいます。

④今後の展望や目標は？
「音声」を文字にする「手書きPC入力」に加え、今、音声認識が注目されつつあります。その精度は限りなく100%に近づいてきています。

だからこそ、今、私たち人間が取って代わらざるべき「文字」について、こだわりたいです。

例えば、「了解」。私たちは、声の強弱など無意識に使い分け、会話に活かしています。

「了解」は「了解」「了解」「了解」...」など、情報保障としてのルールを逸脱しても、お互いの気持ちが通う、ふれあえるための文字支援を心がけています。手書き文字の活用、イラスト、ポイントを示すなど、手書きからできることを最大限に活かして、「文字支援から」対話支援へと支援のあり方を追求してみたいです。

みんなが笑顔でいてほしい。誰もが、情報から取り残されない社会(毎日)に向かって。



■ノートテイク研修会の様子



■遠隔システム (CaptiOnline) 活用事例

【発行】特定非営利活動法人 明石障がい者地域生活ケアネットワーク(略称:135Eネット)
【連絡先】〒673-0883 明石市中崎1丁目5番1号 時のわらし内 TEL&FAX 078-918-8500

特定非営利活動法人明石障がい者地域生活ケアネットワーク(略称135Eネット)は、地域に点在する社会資源を有機的に繋ぐと共に明石市等の行政機関と協同し、障がい者に対して社会参画促進や生活支援に関する事業を行い、障がいのある方やその家族の方が、ひいては明石で暮らす市民の方々か明石の地で安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的としています。 ※現在明石市及び周辺地域の100以上の障がい児者支援事業所や教育機関、当事者団体が連携・連携のもと活動しています。

私たちは「また来てね」といえる病院を目指します

特集

ふくやま病院を訪問しました



理事長 譜久山 剛先生

ふくやま病院理事長の譜久山剛先生にお話を伺ってきました。現在の場所に移動して3年になります。

なぜ現在の場所へ?

候補地を10箇所以上回って、今の場所に決めました。明石川の氾濫等による、避難場所として地域の方々から望まれていたこともあり、災害時、院内のコミュニティホールでは、約100人くらいが避難場所として使用可能です。

生まれ変わったふくやま病院の特徴は?

伊藤喜三郎建築研究所が建設に関わったこともあり院内はヒューマンスケールを意識し、シンプルで分かりやすい表示が施されています。

また広く空間を取り、清潔感のある環境をつくることで病院はネガティブな場所ではなく、このような病院がスタンダードになるであろうことを提案したかったんです。

大変多くの方が当院の視察にも来られています。

一番驚かれるのが、意外とローコストで普通の一般的な病院の建築費より安いことです。

また、ここをこうした方が良かった等、反省点もあるので他の病院にアドバイスしたいと思っています。

ふくやま病院が、めざしたものは?

緩和ケアをはじめ、「病院とはこう!」という既存概念を潰したい。

病院らしさ…三人がけのソファではなく待たされても快適な空間にしたいです。

黒板アートは今年で3回目。はばタンの作者でイラストレーターの「じゅんぽう」氏や漫画家

でコピペの「都あきこ」氏が加わり、幼児や小学生20名くらいを対象に夏休みに取り組んでいます。初めはふくやま病院の保育園を卒園した子どもたちから始まり、地域の子どもたちへと広がっていきましました。

※保護者同伴

病院でマルシェを開催されているとか?

月に1回第2週の日曜日10時からマルシェを開催しています。神戸新聞で掲載されたこともあり、前回は10分で完売しました。

リハビリで体を動かすより日常生活を通して取り組んだほうが良いことから園芸療法を取り入れています。



◆3年前、西新町駅前に新築移転したふくやま病院

車椅子ユーザー

まなみんのふくやま病院 院内レポート



●かわいらしいピクトグラムで院内を分かりやすく案内。なんとこのピクトグラムは、一筆書きで書けるんだって。



●クラウドファンディングで、待合室にまちの図書館(まちライブラリー)を製作。



●家庭のお庭のような花壇。緑に囲まれた敷地内周辺は、一般道とも面しており、地域の花壇として駅前を通る人々の心も癒してくれます。実のなる庭、の木の実は自由に取ってもいいんだって。

●癒しの場として屋上には菜園があります。



●災害時は100人を収容できるコミュニティホール。市民がワークショップやセミナーなどにも使用できます。



●大きな黒板の黒板アート。年に1回、イラストレーターや漫画家を講師にお招きして、地域の子どもたちを対象にした大人気の夏休みイベント!!

●カリモクの高級家具に囲まれた、病院の待合室らしからぬ待合室。ひとつひとつのソファは適度な距離感で配置されており、ベンチソファではないため移動も簡単で、車いすやベビーカーも周りに気を遣わずゆったりと過ごせます。

「緩和ケア」の入院患者さん対象に、音楽療法だけでなく、結婚式やお誕生日会、アロママッサージ、ペット面会など、生きる喜びを大切に治療・支援を提案してくれます。

お孫さんの「大好きなおばあちゃんに私たちの結婚する姿を見てほしい。おばあちゃんの笑顔が見たい。」との思いを聞き、緩和ケア病棟でミニ結婚式をしました。おばあちゃんの大好きな曲をみんなで歌い、幸せなひとときを過ごしました。

ふくやま病院HPふくやま病院看護部サイトふくやまナース通信2018. 8. 28取り組み記事より抜粋



病院の中に図書館!?

クラウドファンディングで、待合室にまちの図書館(まちライブラリー)を製作。出資してもらうことで、「ここが私の本棚♡」と愛着を持ってお手入れもしてくれるんだそう。長時間の読書もどうぞ〜。



新しくできる「ふくやま病院」に人と人がつながる本棚を作りたい

本通じ人とつながりを

新病院に巨大本棚設置へ

新築ビル 高さ約100m

敷地面積 約10,000㎡

総工費 約1,787,000円

日給金額 1,500,000円

立寄人数 135人

発行回数 第1,181号

プロジェクトが成立しました!

2018年8月28日(水)に達成しました。

障がいのある方も、ほっこり笑顔になれる店♪

コープでお買い物をもっと楽しく!

他の地域にはない、オンリーワンのコープをつくりたかった…。

コープこうべに入所以来、配送10年、経理9年、イノベーション推進や他団体交流というさまざまな部署を経てコープ魚住店の店長に抜擢された圓井秀樹さんに、独創的で地域に根差したお店づくりの様子をお伺いしてきました。

Q 独創的なお店づくりをしようと思われたキッカケは?

A 現場の経験が無いまま店長に就任した私がやりたかったことがありました。ロサンゼルス郡を本拠地とする、アメリカ合衆国のグロサリー・ストア(食品スーパーマーケット)チェーンであるトレーダー・ジョーズ(Trader Joe's)の店舗はそれぞれの地域のデザイナーと連携してお店のデザインを行っている為、全店舗が独自性を持った運営をしていることにヒントを得て「コープは商品の品質はいいが、昔ながらのスーパー」のイメージを払拭し、他社との差別化を図りたかったんです。

Q 具体的なアクションは、どのようにスタートしましたか?

A 魚住でデザイナーは見つけれませんが、当店の近くに国立明石工業高等専門学校があり、5~6年前に同校の建築学科の大塚毅彦教授と知り合ったことから、材料費はコープが全額負担することを条件に店内装飾を学生たちにデザインしてもらおうと依頼しました。そこで4名の高専生が立候補してくれ、デザインを行うことになりました。

まず、はじめに私から明石高専の学生たちにコープこうべを知ってもらうために講義を実施して、学生たちにコープが大切にしている理念やコープらしさを知ってもらい、思い思いのアイデアを出し合ってもらいました。しかし、学生4名のアイデアはバラバラ…。

- ① 買い物を楽しく「トリックアート」
 - ② 子どもが1人で来ても買い物ができるように「フロアガイド」
 - ③ 生産者のメッセージを流す。(コープは産直で商品の規格が国の基準より厳しいことをPR)
 - ④ 売り場を目立たせる。異常に大きなPOP広告
- などなど、前途多難なスタートとなりました。

Q 圓井店長のイメージどおりの店内が実現しましたか?

A すぐにできそうな「トリックアート」から取り掛かることにしました。学生たちが考えたデザインを、当店がいつもお世話になっている印刷会社さんが床に貼れる素材を扱っていたので、そこにシール印刷を依頼しました。閉店後に私と学生たちでトリックアートを床に貼りました。

すぐさまコープの職員向けSNSに発信。しかし、コープ内でも賛否両論がありました。トリックアートは貼っているだけだと分かりづらいことから、取扱説明書を張ることに。子どもからお年寄りまで、目を引くようになり写真を撮る光景が見られるようになりました。はじめは2つだけでしたが、今では全部で店内に4箇所トリックアートを貼っています。2つ目の取り組みはフロアガイドです。発案者は最初、お店全体や店外にもフロアガイドを実施したかったのですが、コストの面で断念。印刷会社さんと学生とたくさんの打ち合わせを行い、中通路だけで行うことになりました。

コープは2021年で100周年を迎えます。171万人の組合員の高齢化が進み、コープの未来を支えてもらうために、学生とのコラボが大切と考えています。店の中で何をしているんだ!との意見もありましたが、コープの役員会で話題になるまでに、売り上げが上がったかといえども言えないですが、個人的には成功したと思っています。



店長 圓井 秀樹さん

お店の紹介③
「コープ魚住店」



◆コープ魚住店



◆店内に貼られたトリックアートの一例



◆上記のトリックアートの説明POP



◆フロアガイド

所在地 〒674-0081 明石市魚住町錦が丘4-3-1 TEL 078-947-6141

営業時間 1階 9:00~21:00 2階 9:30~20:00 定休日 なし 駐車場 店舗屋上駐車場



喫茶やすらぎは、皆様にとって居心地の良い「居場所」として利用していただける喫茶店です。アットホームでゆったりとした時間が流れます。ホットコーヒー280円(神戸珈琲)、レモンスカッシュ280円、アイススクリーム150円と値段がリーズナブルです。モーニングセットやお昼のメニューも充実しております。月替わりのギャラリー(作品展)を開いています。人形展や絵手紙展など、展示される方も随時募集中です。



◆喫茶やすらぎ(バリアフリーです。)

1ヶ月に一度認知症カフェを行っております。コーヒーを飲みながらの交流の場です。専門職もいます。教室や会合その他の活動の場所として提供しております。ぜひご利用ください。

お店の紹介①
「喫茶やすらぎ」



所在地 〒674-0051 明石市大久保町大窪479-1 TEL 078-936-6730(夢工房大久保代表)

営業時間 10:00~16:00 定休日 土日祝(但し第一土曜日は営業) 駐車場 6台ほど

NPO 法人 こぐまくらぶ 垂水事業所が運営するワッフルのお店です



プレーンワッフル ¥180 チョコワッフル 各¥250



小さくカットしたタイプもできます。 ※注文時にお申し付けください。

所在地 〒655-0028 神戸市垂水区宮本町3-14 TEL 078-647-7313

営業時間 平日10:00~15:00/土曜10:00~13:00 定休日 日曜・祝日 駐車場 お近くの駐車場に止めてください。

お店の紹介②
「Little Bear's Kitchen」

Little Bear's Kitchenではショーウィンドウから玄関までスロープになっており、完全バリアフリーと車イスの方対応のキッチンも設備されています。テイクアウトのワッフルをはじめ

め、飲料の販売も行い、地域の皆様との交流を交えながら日々の活動に取り組んでいます。ぜひ、一度足をお運びください。



今回は **CAMPFIRE** で上映資金を集めます!!

映画館で

募集期間
2019年
11月1日~11月30日

目標金額
600,000円

障害理解の啓発映像シネアド上映プロジェクト



イオンシネマ明石で障害者理解の啓発映像を上映するぞ!

映画上映前の予告で障害理解の啓発映像(30秒)が公開開始から4週間下記の映画で流れます!

男はつらいよ50 おかえり、寅さん(仮) 12月27日金公開!

クラウドファンディングにご支援いただいたリターン品として、啓発動画のエンディングロール 5秒に氏名or企業名を掲載させていただきます。

- ① 大文字 30,000円
- ② 中文字 10,000円
- ③ 小文字 5,000円

※寄付をいただいた金額によって、文字サイズを決めさせていただきます。

トラちゃん明石をゆく

～啓発映像紹介～

出演



車椅子ユーザー 白石 義正さん NPO法人ウエルネスハート 代表 石井美弥子さん 明石ろうお協会 木戸めぐみさん 株式会社ソフサポート 代表 浅原奈緒子

撮影&編集

社会福祉法人 三田谷治療教育院 服部 記昌

なぜ映画館で啓発活動?

啓発活動や福祉イベントを実施しても当事者やご家族、そして障害児者支援に関わりのある方には興味を持っていただけますが関わりのない一般の方々には興味を持ってもらえない!!

- いいことをしても知ってほしい人たちに、届かなければ意味がないのです!!

そこで、明石市にある唯一の映画館イオンシネマ明石で、「障害」に関して無縁な一般の方々が集まり尚且つ、舌が応でも視聴せざるを得ない映画という媒体を活用して障害「者」理解に特化した啓発映像を上映したいと考えています。

連絡先 社会福祉法人 三田谷治療教育院 担当:服部
☎090-9866-0168 E-mail:akashikirakira@gmail.com
平日のお問い合わせはこちらまで あおぞら ☎078-945-0280(平日9:00~17:00)

なぜ新作「男はつらいよ」のシネアドで啓発映像上映??

新作『男はつらいよ50 おかえり、寅さん』(仮題)について今年注目する映画の1つには間違いありませんが、やはり寅さんの「困っている人がいると放っておけない」「弱いものに優しい」性格が本プロジェクトのテーマと重なる部分があったからです。

◆イオンシネマ明石で上映する啓発映像は右記のQRコードを読み取っていただきますと、YouTube動画をご覧いただけます。



◆CAMPFIREの詳細は右記のQRコードを読み取っていただきますと、公式HPをご覧ください。



本プロジェクトを行う理由

「障害啓発」の映像は暗いものばかり...

障害当事者のありのままのポジティブさが全面に押し出された映像を作成!! 私が知っている車椅子ユーザーや視覚・聴覚障害のある方は決して、ネガティブではなく、ポジティブな方が多く、逆にエネルギーをいただいています。

しかし、障害当事者のみなさんの話を聞くと笑顔の裏には、我々が想像できないくらい努力と苦労があることを知りました。私が思っていた各「障害」の認識において、たくさんの勘違いや理解不足があることに気がつきました。

- サポートしなければいけない時にサポートする。
- サポートしなくていい時は、見守るだけにします。

これは何も障害者だけではなく、子育てや教育現場、職場にも言えることだと思います。その子、その方を「理解」することが適切な関わりを豊かにし、お互いの多様性を認め合えることで、やさしい社会になるのだと思います。

【主 催】株式会社ソフサポート 【企 画】社会福祉法人 三田谷治療教育院

新しい交通手段

グリーンスローモビリティ

CO2排出量が少なく、開放的で話が弾む「乗りたい」「乗って楽しい」乗り物です。

グリーンスローモビリティの普及・推進

国土交通省におきまして、地域での低炭素社会の実現と地域が抱える様々な課題の解決をめざし、「グリーンスローモビリティ」の実証調査を進めています。

明石市では、誰もが円滑に移動できる交通体系の確立のため、公共交通の利用促進をめざし、コミュニティバス(たこバス)など交通施策を展開してきましたが、現在の公共交通手段では対応できない地域もあり、増加する高齢者のさらなる外出支援のため細かい公共交通網の充実が求められています。



そこで、国の実証調査支援事業に企画提案したところ...

調査地域に明石市が選定されました!

グリーンスローモビリティについて

電動で時速20km未満で公道を走る4人乗り以上のパブリックモビリティであり、環境への負担が少なく、狭い路地も通行が可能です。

高齢者の足の確保などに期待されています。

定員 7人乗り(運転手含む)

運行時刻 10:00-16:00(1時間に1本)

乗車料金 無 料

調査期間 2019年 10月27日(木)~11月22日(金)
(ドライバー講習や試験走行機関など含むので、実際の利用開始は明確ではありませんので、ご注意ください。)



国土交通省ホームページ「グリーンスローモビリティ概要」より抜粋
<http://www.mlit.go.jp/common/001290259.pdf>

グリーンスローモビリティ 検索